科目名	サッカーゲーム 1						年度	2025	
英語科目名	Soccer Game 1						学期	前期	
学科・学年	スポーツ健康学科三年制 サッカーコース 1年次	必/選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実技
担当教員	永山、樋口(マリノス)、八重樫、志佐	教員の実務経験		有	実務経験の職種 クラブチー として従事		ムにてサッカーコーチ		

#### 【科目の目的】

公式戦では、日頃のサッカートレーニング、フィジカルトレーニング、ゲーム分析を通じ、最大限のパフォーマンスを発揮し、 上位カテゴリーへ昇格できるようにする。また、練習試合では公式戦で勝利するためのトライ&エラーをおこない、特にエラー についてはゲーム分析ならびトレーニングにて改善をし次戦では改善されたパフォーマンスが発揮できるようにする。

## 【科目の概要】

神奈川県社会人サッカー公式戦とクラブユース・大学・高校との練習試合を実施します。

#### 【到達目標】

- A. 個人としてのトライを行いエラーの理解のもとに修正できる B. チーム戦術の中で個人としてのトライを行いエラーの理解をもとに修正できる
- C. 試合に勝利するため協調、コミュニケーションがチームの一員としてとれ行動できる

### 【授業の注意点】

遅刻、欠席の場合は、授業前に教員室へ電話連絡をすること。安全性を確保すること(学生自身の十分な体調管理、ゲーム環境 の確認と設営)。夏季は熱中症対策を強化する(各自水分補給を行うこと、回数の確保)。授業時数の4分の3以上出席しない者は評価することができない。

評価基準=ルーブリック						
ルーブリック評価	レベル 5 優れている	レベル 4 よい	レベル 3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル 1 要努力	
到達目標A	個人としてのトライを行 いエラーの理解をもとに 修正できる		個人としてのトライを行 いエラーの理解が理解で きる		個人としてのトライを行 いエラーの理解が理解で きない	
到達目標B	チーム戦術の中で、個人 としてのトライを行いエ ラーの理解をもとに修正 できる		チーム戦術の中で、個人 としてのトライを行いエ ラーの理解ができる		チーム戦術の中で、個人 としてのトライを行いエ ラーの理解ができない	
到達目標C	試合に勝利するため協調、コミュニケーションがチームの一員としてとれ行動できる		試合に勝利するため協 調、コミュニケーション がチームの一員としてと れる		試合に勝利するため協 調、コミュニケーション がチームの一員としてと れない	
到達目標D						
到達目標E						

# 【教科書】

配布プリント

# 【参考資料】

# 【成績の評価方法・評価基準】

試験と課題を総合的に評価する。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入

科目名		サッカーゲーム 1				
英語表記		Soccer Game 1				
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	i   E
			1 試合準備	グラウンド準備、ウォーミングアップを適切に行える		
1	1 練習試合 <b>①</b> クラブ ユース		2 試合中	個人、チームのテーマを理解のもとトライ&エラーが行える		
			3 試合後	クールダウン、振返りを適切に行える		
	2 練習試合②高校	式合③大学	1 試合準備	グラウンド準備、ウォーミングアップを適切に行える		
2			2 試合中	個人、チームのテーマを理解のもとトライ&エラーが行える		
			3 試合後	クールダウン、振返りを適切に行える		
	3 練習試合③大学		1 試合準備 グラウンド準備、ウォーミングアップを適切に行える			
3			2 試合中 個人、チームのテーマを理解のもとトライ&エラーが行える			
			3 試合後	クールダウン、振返りを適切に行える		
			1 試合準備	グラウンド準備、ウォーミングアップを適切に行える		
4	練習試合④高校		2 試合中	個人、チームのテーマを理解のもとトライ&エラーが行える		
			3 試合後	クールダウン、振返りを適切に行える		
			1 試合準備 グラウンド準備、ウォーミングアップを適切に行える			
5	練習試合⑤クラブ ユース		2 試合中	個人、チームのテーマを理解のもとトライ&エラーが行える		
			3 試合後	クールダウン、振返りを適切に行える		
			1 試合準備	グラウンド準備、ウォーミングアップを適切に行える		
6	練習試合⑥高校	試合⑥高校	2 試合中	個人、チームのテーマを理解のもとトライ&エラーが行える		
		3 試合後 クールダウン、振返りを適切に行える				
			1 試合準備 グラウンド準備、ウォーミングアップを適切に行える			
7	練習試合⑦大学		2 試合中 個人、チームのテーマを理解のもとトライ&エラーが行える			
			3 試合後 クールダウン、振返りを適切に行える			
		公 練習試合をで培ったもの を個人、チームとして勝 利のために発揮する	1 試合準備 グラウンド準備、ウォーミングアップ、チームミーティンタ			
8	神奈川県社会人公式戦①		資訊音をで持ったもの 個人、チームとして勝 2 試合中 個人、チームが勝利を追求しパフォーマンス発揮がで		2	
			Dために発揮する 3 試合後 クールダウン、振返りを適切に行える			
		↑⑧クラブ	1 試合準備 グラウンド準備、ウォーミングアップを適切に行える			
9	練習試合⑧クラブ ユース		2 試合中	個人、チームのテーマを理解のもとトライ&エラーが行える		
			3 試合後	クールダウン、振返りを適切に行える		
			1 試合準備	グラウンド準備、ウォーミングアップを適切に行える		
10	10 練習試合⑨高校		2 試合中	個人、チームのテーマを理解のもとトライ&エラーが行える		
		じトライ&エラーを行う	3 試合後	クールダウン、振返りを適切に行える		
			1 試合準備	グラウンド準備、ウォーミングアップを適切に行える		
11	練習試合⑩大学	<b>式</b> 合⑩大学	2 試合中	個人、チームのテーマを理解のもとトライ&エラーが行える		
			3 試合後	クールダウン、振返りを適切に行える		
			1 試合準備	グラウンド準備、ウォーミングアップ、チームミーティングを適切に える	行	
12	神奈川県社会人公式戦②		2 試合中 個人、チームが勝利を追求しパフォーマンス発揮ができる			
	1人于X企		3 試合後	クールダウン、振返りを適切に行える		
			1 試合準備 グラウンド準備、ウォーミングアップを適切に行える			
13	練習試合⑪高校	 公式戦で勝利するために	2 試合中 個人、チームのテーマを理解のもとトライ&エラーが行える			
			1 試合準備 グラウンド準備、ウォーミングアップを適切に行え			
14	練習試⑫大学		2 試合中	個人、チームのテーマを理解のもとトライ&エラーが行える		
			3 試合後	クールダウン、振返りを適切に行える		
			1 試合準備	グラウンド準備、ウォーミングアップ、チームミーティングを適切に える	行	
15	神奈川県社会人公式戦③		2 試合中	個人、チームが勝利を追求しパフォーマンス発揮ができる		
	-V+X-W		3 試合後	クールダウン、振返りを適切に行える		
評価	<u>.</u> i方法:1. 小テスト、	<u> </u>	3. その他			

自己評価:S:とてもよくできた、A:よくできた、B:できた、C:少しできなかった、D:まったくできなかった

備考 等